

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度 第11回頸城区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 協議事項（公開）

○活動団体との意見交換から見えてきた地域の課題について

○令和4年度地域活動支援事業活動報告会について

## 3 開催日時

令和5年1月18日（水）午後6時30分から午後8時5分まで

## 4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

## 5 傍聴人の数

1名

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：上村閨一（会長）、笠原昇治（副会長）、小川泉、橋本春美、船木貴幸、望月博、山本誠信、（委員13人中7人出席）

・事務局：頸城区総合事務所岡村所長、本間次長、井部市民生活・福祉グループ長、本山教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ渡辺班長、市川主査

## 8 発言の内容

### 【本間次長】

・会議の開催を宣言

### 【上村会長】

・挨拶

### 【本間次長】

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・会議録の確認：小川委員、船木委員に依頼

**【上村会長】**

次第3 協議事項「(1) 活動団体との意見交換から見えてきた地域の課題について」に入る。まず、くびきまちづくり通信の活用について、事務局に説明を願う。

**【渡辺班長】**

- ・事務局からの説明

**【上村会長】**

質問はあるか。

- ・なし

次に活動団体を応援するコーナーの名称について、案として提示した「地域の活動団体を応援するコーナー」で進めてよいか。

**【山本委員】**

途中で名称の変更はできるか。

**【上村会長】**

変更は可能である。最初の試みなので、この名称で進めるのでどうか。

- ・反対なし

この名称で進める。

次に呼びかけの文案についてはどうか。

**【笠原副会長】**

①「ぜひ地域の活動を応援してください」でよいが、文字だけでなく写真等も利用したコーナーにした方がよい。

**【上村会長】**

他に意見はないか。

**【船木委員】**

案②の「皆様のご参加、応援お待ちしております」の「皆さん」を「地域活動」に変えればしっくりくると思う。「地域活動にご参加、応援をお待ちしております」がいいと思う。

**【上村会長】**

他にないか。

**【望月委員】**

ここにはないが「地域活動を知って応援する。そして参加してください」でよいので

はないか。

**【上村会長】**

複数の意見があったがどうか。

- ・望月委員の意見に決定

**【上村会長】**

次に編集等に携わる委員については、なりたい頸城区の4つの事業提案の担当委員からそれぞれ1人ずつ選出してはどうか。

**【笠原副会長】**

若い人の斬新な考えで広報してほしい。

**【上村会長】**

4つの事業から年齢の若い人を選出してよいか。

- ・反対なし

**【渡辺班長】**

「大池・小池を活かした観光」は滝本委員、「くびきのお宝活用」は佐藤委員、「季節の花が咲く通学路、ポケットパークの整備」は小川委員、「外国人の交流とファーマーズマーケット」は橋本委員となる。

**【上村会長】**

では、以上の委員にお願いします。

くびきまちづくり通信の活用については、以上で終了する。

**【渡辺班長】**

本日欠席している委員には事務局から連絡する。掲載時期については、担当委員と相談する。

また、地域の活動団体を応援するコーナーについても、冬期間はイベントが少ないので、事務局で準備し掲載できる時期に掲載したいと考えている。

**【上村会長】**

次に「今後の地域協議会の進め方」について事務局の説明を願う。

**【渡辺班長】**

- ・事務局からの説明

**【上村会長】**

小川委員から順に意見をお願いします。

#### 【小川委員】

「①接点を持つ」は、活動団体を主体に行うのがよいと思う。「④学生」については、大人が活動しているところを見せて一緒に参加してもらうことで、課題をクリアできたらよいと思う。

#### 【船木委員】

「①接点を持つ」は、活動団体と早く日程調整をして、4月～6月頃に意見交換をする必要がある。「③意見交換」は社会福祉協議会でも地域福祉計画策定のために、区民と意見交換をしており、3月頃にまとまると聞いている。そこで、どんな意見・問題等が出たのか地域協議会と意見交換をさせてもらえればよいと思う。「④学生」については、意見交換等を実施するのが平日の昼間になると思うが、仕事があり、参加できない委員もいるので、そこが課題になると思う。小・中学生とは今まで意見交換をすることがなかったので、これを機会に子どもたちの意見も聞けたらよいと思う。

「①接点を持つ」の中に加えて欲しい項目がある。今まで地域活動支援事業を申請している団体を中心に意見交換をしていたが、それ以外の人たちとも意見交換ができるように窓口を決めておいたらどうか。

#### 【望月委員】

「①接点を持つ」と活動団体との「③意見交換」は、各団体の会長が交代する場合もあると思うので6月から、「④学生」では4月から意見交換を実施する。「②情報発信」はいつでもよい。

#### 【山本委員】

「①接点を持つ」は、5月に総会を行う団体が多いので6月からでよいと思う。「②情報発信」はまちづくり通信が毎月発行されるので、それを活用すればよいと思う。

「③意見交換」も役員が交代する組織もあるので、それを考え6月か7月頃から行うのがよいと思う。「④学生」は、高校生以上の人からどうやって関わってもらえればよいか悩ましく、いい考えが浮かばない。小中学生から関わってもらい、その子どもたちが何年か先に高校生になったら、そのまま継続してくれるような長期的な考えを持って接していきたいと思う。

#### 【橋本委員】

「①接点を持つ」は活動団体が行事の話し合いをする時に訪問するのがよいと思う。

「②情報発信」は、毎月1回発行するまちづくり通信を利用するのがよいと思う。「③意見交換」だが、社会福祉協議会の地域福祉計画を策定するための懇談会で、笑顔でつなぐ頸城区というイメージで目標を設けていた。人を笑顔にするにはどうしたらよいかなど、人に寄り添った意見が多かったと思う。一方、地域協議会はまちの観光とか資源をどうするか、いろんな観点から頸城区をよくするための話し合いが多いと思った。異なる観点から出た意見をどのようにすり合わせていくのかを決めておいて、お互いに意見を出しただけで終わらないようにしなければならない。様々な意見を混ぜながら1年かけてまとめていけばよいと思う。「④学生」の小・中学生では、「それ以降」のところに「10代の若者による地域の魅力発信のくせを作らせる。」とある。私たち30代、40代がなぜ地域に興味がないかと言うと、小さい頃に地域で活動した経験がないからだと言われたことがあった。地域と関わるくせを作ることにより高校生が20代になった時に、地域で活動することが当たり前と考えられるように小・中学生、高校生から関わってもらうのが必要だと感じた。

#### 【笠原副会長】

「①接点を持つ」は早急に取り組む必要があるが、実行委員会等が実施される時に合わせて接点を持つのがよいと思う。「②情報発信」はまちづくり通信を活用するのがよいと思う。「③意見交換」は、地域協議会は上から目線だと思われているので、それを払拭するためにも委員が分担して活動団体の中に入り、話を聞いたり実態を把握しながら進めていくべきだと思う。「④学生」は4月に年間の行事が出るので、それ以降、学校側と調整すればよいが、青少年育成会議に協力を依頼するのがよいと思う。

#### 【上村会長】

これまで関りがなかった団体を含めて、進んで接点を持たなければならないと思う。頸城区の大きな行事、頸城の祭典、大池まつり、頸城の収穫祭には地域協議会として積極的に関わっていく必要があると思っている。それには意見交換も必要になる。

社会福祉協議会の懇談会に地域協議会委員から3名出ているが、担当委員から情報提供してもらいながら、意見交換に進めていったらよいと思う。

青少年育成会議は、今まで地域協議会との関りが無かったと思うが、現在どんな取り組みをしているかを地域協議会で勉強しながら、丁寧な対応を心がけていく必要がある。

今までの意見を踏まえ資料2-2の「短期的スケジュール」に各自で記入し、月末

までに事務局に提出していただきたい。

以上で、協議事項「(1) 活動団体との意見交換から見てきた地域の課題について」を終了する。

次に協議事項の「(2) 令和4年度地域活動支援事業活動報告会について」入る。事務局の説明を願う。

**【渡辺班長】**

・事務局からの説明

**【上村会長】**

質問はあるか。

**【山本委員】**

4月は忙しくなるのでB案にしてほしい。

**【上村会長】**

他にあるか。

(仮称) 地域独自の予算は地域活動支援事業と異なるので、これを地域活動支援事業の報告会で説明すると区民の皆さんが混乱するのではないか。

**【船木委員】**

会長の意見に賛成する。「接点を持つ」に入ると思うが何かやりたいと思っている人も、その時に集まってもらえればいい説明会になると思う。

**【望月委員】**

地域活動支援事業を活用した団体の中には(仮称) 地域独自の予算を希望する団体もあると思うので、説明会を兼ねているB案の方が何度も集まる必要がなくよいと思う。

**【上村会長】**

地域の皆さんは(仮称) 地域独自の予算の制度を知らない人が多いと思う。先般の町内会長会議で説明した時もあまり意見は出なかった。来年度早々の町内会長会議で再度説明したほうがよいと思う

**【市川主査】**

4月に入ると活動団体の総会等が開催されるため、日程的に困難である。また、(仮称) 地域独自の予算と地域活動支援事業が異なるのは事実だが、目的は同じ地域のまちづくりであり、一緒に説明した方が分かりやすいと考えている。その点も配慮いた

だければと思う。

**【上村会長】**

複数の意見が出たが、B案で進めることでよいか。

- ・よしの声

多くの人から参加してもらいたいのので、いろいろな手法で周知していきたい。

**【船木委員】**

B案となれば、令和5年度の（仮称）地域独自の予算の説明は、4月以降はしなくていいのか。

**【上村会長】**

3月23日に参集する皆さんの数にもよるが、何らかの形で、区民に説明し意見を求める機会は作りたいと思っている。

**【市川主査】**

4月に町内会長会議があり、55町内会が集まる。そのような機会を捉え説明したり、意見を聞いたりしてはどうか。その他、地域の集まりがあれば、こちらから出向いて説明し、周知した方が効果があると思う。

**【上村会長】**

事務局の説明でよいか。

- ・よしの声。

以上で、協議事項「(2) 令和4年度地域活動支援事業活動報告会について」を終了する。

**【本間次長】**

- ・次回の第12回地域協議会の日程について提案

2月15日（水）午後6時30分から開催

**【上村会長】**

他にないか。

- ・なしの声
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-530-2311（内線212）

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。